

## 地域の“見守り”の仲間をご紹介

市内には、「ふれあい見守り推進員」の他にも、地域の見守りに協力していただいている方々があります。

業務を通じて高齢者と接する中で異変を発見する  
協力事業所（約 470 事業所）



振込詐欺などが多発したことをきっかけに多くの銀行が協力事業所になっています。

- 通帳の紛失・再発行を繰り返している方がいるといった連絡が入ります

お客さんといろいろ話をする機会のある美容院からも連絡が多くあります。

- お店の中で何度も転倒する方がいるという連絡があり、地域包括支援センターの担当がお宅を訪問するということがありました
- このケースでは、日常生活動作にやや不安があり、美容院の方からの声かけもあったため、介護保険の申請をスムーズに行うことが出来ました

配達で地域を回るお弁当屋さんや新聞屋さんも登録しています。

- 配達の際に応答がない、元気がなかった、等の連絡が多くあります
- 怪しい業者が入り出しているという連絡を受けて、消費生活センターを紹介し、振込を断ることができたということもありました



散歩やウォーキングの習慣を活かして地域を見守る

わんたま見守り隊（包括多摩川苑地域の取組です）

何か特別なことをするのではなく、“愛犬との散歩の時に” “毎日の散歩”の時間に” “ウォーキング”のついでに” 自分の周りを少し気にしていただける方を隊員として登録しています。

※多摩川苑地域（万願寺・大字上田・大字川辺堀之内・大字日野・大字宮・石田・大字石田（浅川北））にお住まいの方は、以下までお問い合わせください。

名称	所在地	電話番号
地域包括支援センター多摩川苑	万願寺 1-16-1 (マザアス日野内)	042-582-1707

※地域包括支援センター あいりんでも、犬の散歩等のついでに地域を見守っていただく方の登録を行っています。

日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496（直通）／ FAX：042-583-4198

E-mail：kourei\_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

## 日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第40号 2023年春号



見守りの輪を広げるために…

## 地域の“見守り”に関する説明会を開催しました！



新型コロナウイルスによる影響が長引く中で、地域の高齢者の支援の入口となる「見守り支援ネットワーク」の重要性が高まっています。

「見守り支援ネットワーク」の活動をさらに広げるために、「ご近所の様子が気になる方」や「気軽にできるボランティアを探している方」をターゲットに、“見守り”の活動を紹介する説明会を開催しました。

- ☞ 説明会で聞いた実際の見守りのやり方をご紹介（内面）
- ☞ その他の“見守り”の取組をご紹介（背面）

### 説明会の開催概要

11月21日（月）と24日（木）に以下の内容で説明会を開催しました。内面では、「②活動紹介」の様子をご報告します。

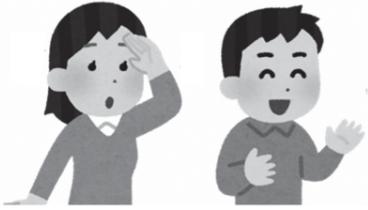
①概要説明	②活動紹介	③グループトーク
まず日野市から“見守り”のポイントやお勧めのやり方、困った時の相談窓口等を紹介しました	実際に“見守り”を行っている方からどんな活動をしているか話を聞きました	活動の紹介者、地域包括支援センターの職員を囲んで、テーブル毎にさらに詳しく話を聞く時間を設けました
		

# 活動紹介の概要 ～地域で見守り活動を行う具体的なやり方～

説明会の中では、「ふれあい見守り推進員」として“見守り”を実践する3名の方に、どんな活動を行っているか教えていただきました。ご近所の様子に気になる方、既に「ふれあい見守り推進員」として活動している方も、是非参考にしてみてください。

	Aさん	Bさん	Cさん
<p><b>ふれあい見守り推進員としてどんなことをしていますか？</b></p> 	<p>近所には80代の方が多いので、声をかけたりできることはやってあげたいと思っています。“誰でもできる自然体の交流”がモットーです！</p> <p>最近、道で声をかけた方に“話しかけてもらえて嬉しい”と言われ、日頃の何気ないコミュニケーションの大切さを実感しました。</p> 	<p>坂の多い地域なので、買い物から帰り道が大変そうの方がいたら地域包括支援センターに連絡をすることがあります。</p> <p>ご近所から何か相談されたら答えられるように、高齢者の役に立ちそうな情報を集めていつ聞かれても良いよう準備をしています。</p> 	<p>サロン活動を通じて知り合いが多いので、外で見かけたら必ず声をかけるようにしています。</p> <p>「最近元気がないな」「しばらく顔を見ていないけれど大丈夫かな」という方については、他のサロンのスタッフとも情報共有してご様子を確認するようにしています。</p> 
<p><b>特定の方を見守る時はどんな活動をしていますか？</b></p> 	<p>特定の高齢者を見守りを行うことになった当初から、相手の方のお宅を月2回訪問して玄関先でお話をしています。</p> <p>最近は、お体が少し弱ってこられたのでお宅に届いた郵便物の片付けなどのお手伝いもしています。</p>	<p>ひとり暮らしをする高齢者のお宅へ、一緒に活動する仲間と定期的に訪ねる活動をしています。</p> <p>こちらから訪問するだけでなく、地区センターで、お茶会や、地域の方の趣味の作品を展示する展示会も開催しています。</p>	<p>特定の高齢者の方のお宅を訪問する代わりに携帯電話（LINEアプリ）を使って、メッセージのやり取りをしています。</p> <p>必ず返事をしなければならないような堅苦しいやり取りではないため、負担なく続けられています。相手の方からも「こんなことがあった」という連絡が時々入ります。</p>

## 《参考》「ふれあい見守り推進員」とは？


  
 地域の“見守り”の担い手として、気になることを見つけたら地域包括支援センターに連絡するボランティアの方々です。

**活動①地域の見守り（共通のお願い）**  
 普段の生活の中で「あれっ、おかしいな」「心配だな」と思うことがあったら地域包括支援センターへ連絡します。



**活動②特定の高齢者を見守る（一部の方限定のお願い）**  
 「見守って欲しい」と希望する方へ、定期的に見守りや声かけを行います。



3名の方の活動紹介は参考になりましたか？

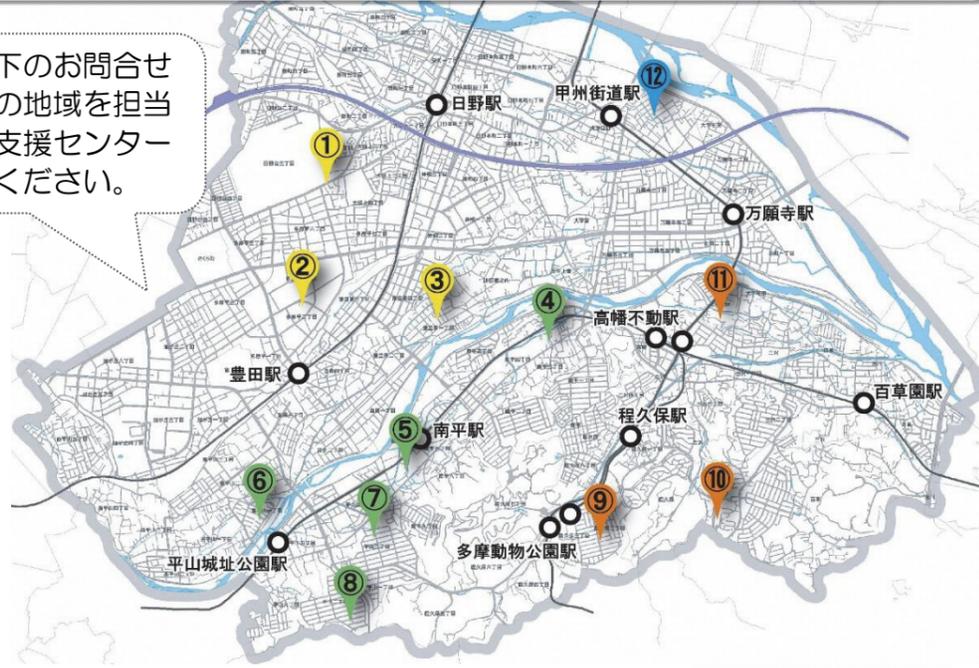
“もっとこんな話を聞いてみたい”あるいは“私はこんなやり方をしている”という方は、背面の連絡先までご一報ください！

## 「ふれあいサロン」に関するお知らせ

「ふれあいサロン」はいつでも気軽に立ち寄れる地域のたまり場です。各サロンでは、オープン時間中はいつでもおしゃべりができるほか、絵手紙、書道、囲碁・将棋等の趣味の活動や、歌の会、体操の会といった催しも行っています。気軽に足を運んでみてください！

### ふれあいサロン全 12 箇所の所在地は…

詳しくは、以下のお問合せ先かお住まいの地域を担当する地域包括支援センターまでお問合せください。



### 新しいふれあいサロン「この街八坂サロン」

令和4年10月に、市内12箇所目となるサロン「この街八坂サロン」が以下の通りオープンしました。



ご案内：高幡橋から北野街道を南平駅方面に向かい、「ドラマ」という店舗の筋向いの坂道を下る→八坂神社内にある「南平地区センター」で週3日開設しています



- 所在地：南平 4-8-6 南平地区センター
- 開設日：体操・唱歌 第1・3月 13~16時  
輪投げ・ポッチャ 第1・3木 13~16時  
麻雀 第1~4金 9~17時  
※ウォーキングも不定期開催しています
- 参加費：無料

### 日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496(直通) / FAX：042-583-4198  
E-mail：kourei\_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

## 日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第41号 2023年春号②



いつもご協力ありがとうございます



### 最新の高齢者調査の結果 がまとまりました！

日野市では、市内在住の75歳以上の方の健康状態や生活状況を把握するために、「はつらつ・あんしん調査」という調査を毎年実施しています。今回はこの調査から見えてくる傾向を内面でご紹介します。

調査は、皆さまのご理解とご協力のおかげで毎年90%近い高い回収率となっており、高齢者支援の貴重な手がかりとなっています！

調査の結果をもとに介護予防のご案内をしたり、見守り支援の登録を行ったり、次ページのような分析を行って施策の検討に役立てたりしています。調査のおかげで「緊急時にお宅や親族に連絡をすることができた」ことも何度もあります。

### はつらつ・あんしん調査の概要

■調査対象：当該年度の4月1日現在、75歳以上のうち奇数年齢の方  
：介護認定を受けている方や特定の施設に入院・入所している方等を除く  
(2年に1回、市内在住の該当者全員を調査しています)

■調査内容：令和4年度は以下の9つの設問で調査を行いました

- ①世帯の状況
- ②日中ひとり暮らしの状況
- ③現在の健康状態
- ④定期的な運動や活動の有無
- ⑤外出や階段の移動における支障の有無
- ⑥日常の交友状況
- ⑦携帯電話の利用状況
- ⑧見守り支援ネットワークへの参加希望
- ⑨見守り支援ネットワークのボランティアの関心

■調査方法：郵送配布・郵送回収

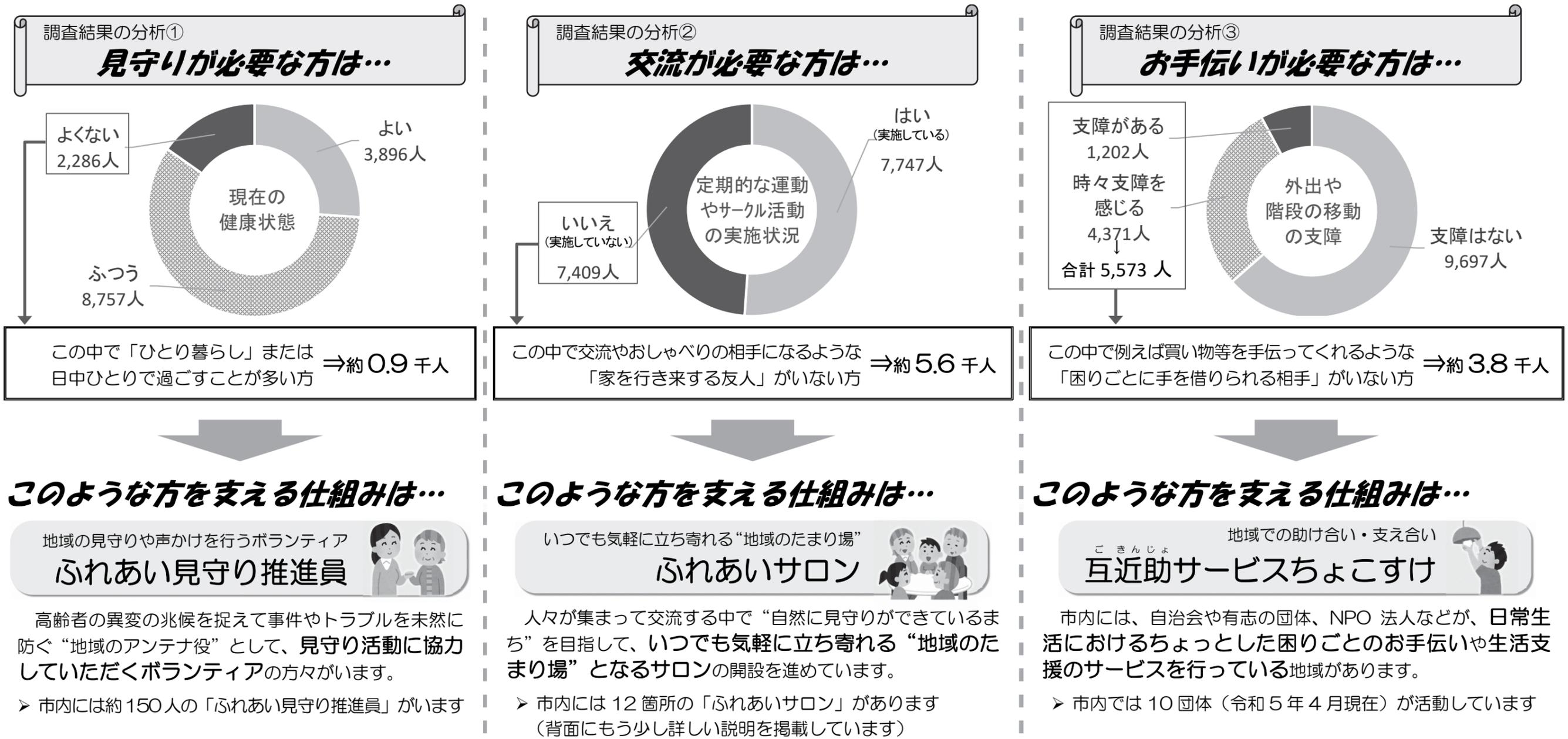
：指定の期間内に郵送による返送がなかった方の所には、地域の民生委員が訪問して市への返送をお願いする場合があります

# 調査から見えてくる傾向 ～令和3・4年調査の結果から～

調査対象者の6割以上を占める約1万人の方が高齢者のみの世帯（ひとり暮らしまたは高齢のご夫婦等）となっています

市内の高齢者の状況を「見守りが必要な方」「交流が必要な方」「お手伝いが必要な方」という3つの視点\*からまとめてみました。  
3つの調査結果の下部には、このような方を支える仕組みについてもご紹介しています。

※例えば、「見守りが必要な方」（正確には「見守りが必要かも知れない方」）の人数は、「現在の健康状態」「世帯状況」「日中ひとり暮らしの状況」という3つの設問の回答結果から推計しています。



上の仕組みを利用したい方、ボランティアとして参加したい方は、お近くの地域包括支援センター または 高齢福祉課までご相談ください！